

1 学校教育目標

かしこく やさしく 元気な子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の知を高める学校（学力の定着、学ぶ意欲の向上） ・子供の徳を深める学校（思いやりの心、自他を尊重する心の醸成） ・子供の体力を高める学校（健康な心と体の育成）
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・かしこい子（めあてをもち、すすんで学習する子） ・やさしい子（自分と周りの人を大切にする子） ・元気な子（運動を好み、楽しむ子）
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・児童理解と自己研鑽に努め、児童の成長に全力を注ぐ教師 ・組織の一員としての自覚をもち、協力して職務を遂行する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

1. 学校の現状

今年度創立119年を迎える、歴史と伝統ある学校である。現在は特別支援学級1学級、通常学級12学級の編成である。

児童は新しく学ぶことや知らなかったことに対して関心をもち、取り組もうとする一方で、学んだことの十分な定着を課題としている。これからは、学んだことを使ってさらに新しいことや難しいことに挑戦する心を育てたい。また元気で素直である一方で、すすんで挨拶する、正しいと思うことをどんなときにも行動で表すことは今後の課題である。教職員は、職務に熱心で自分の役割を精いっぱい果たそうとしている。若手教員が多い中、先輩の教員が学習指導、生活指導、校務分掌等において丁寧に指導している。スクールカウンセラー（以下SC）、スクールソーシャルワーカー（以下SSW）、そだち指導員、非常勤講師、外国語アドバイザー、介助員等も本校の教育活動に不可欠な存在である。

保護者、地域は本校の教育活動を理解し、協力的である。開かれた学校づくり協議会やPTAを中心に、朝の見守りや長期休業中のパトロール、朝学習の丸付けや図書ボランティア、校外学習の際の付き添い等、このほかにも学校への協力を惜しまない。

2. 前年度の成果と課題

重点的な取組事項1 基礎学力の向上

児童の学力の実態分析、補充指導を一年間計画的に行った。しかし区、都、国の各種学力向上に関する調査の結果を見ると、学習内容の定着が不十分であることが分かった。校内研究のテーマとして取り組んだ「足立スタンダード」に基づいた授業、補充指導が結果に結びつかなかった。

重点的な取組事項2 自ら正しく判断し、行動する心の育成

教員間で、児童の状況の把握と対応策を共有した。今後はSC、SSWとの連携をさらに深め、いじめの全件解消、不登校傾向の児童に対する手立てを充実させていく。

重点的な取組事項3 体力向上

29年度の年間指導計画を改善し取り組んだ結果、30年度の投力は全校平均で、0.86m伸びた。生活習慣の改善としては、早寝早起き、むし歯の治療等に課題が残った。オリンピック・パラリンピック教育を推進するための授業、コーナーの設置は児童の興味・関心を高め、豊かな心の育成につながった。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		29	30	31	32	33
1	基礎学力の定着	◎	◎	◎	◎	◎
2	教師の指導力向上	○	○	○	○	○
3	児童の心身の育成の充実	○	○	○	○	○

5 平成31年度の重点目標

重点的な取組事項－1		基礎学力の定着
A 今年度の成果目標		平成31年度区学力調査目標通過率と年度末の到達目標
既習事項の学習内容の定着		<ul style="list-style-type: none"> ・31年度目標通過率を全学年区の通過率と同率にする。 ・年度末までに現学年の区調査を再度実施し、通過率を10%上げる。
B 前年度の取組み内容		
項目	具体的な方策	
補充指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の時間に、国語と算数を中心に検定を行いつまづきの解消とした。 ・朝学習や単元テスト、区調査の結果を活用し、放課後や長期休業中に指導を行った。 ・週一時間、その週の国語、算数の単元について復習、補教を行った。 	
授業力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を図る授業づくりを目指して、校内研究で取り組んだ。 ・教科指導専門員、管理職の授業観察及び指導を、年間を通して行った。また若手教員研修会を月1回実施した。 ・高学年の一部教科において教科担任制を実施した。 	
学力向上を支える取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」の配布、宿題の内容の工夫、児童と家庭が一緒に行うチェックカードの作成、放課後の図書室開放等を行った。 ・読書活動を充実させるために、図書委員会児童と図書支援員、保護者の図書ボランティアによる図書室の環境整備を行った。朝礼での本の紹介、読書旬間の教員全員による読み聞かせ等を行った。 ・「ニュース見つけた」と称して、高学年の児童と教師が新聞から記事を選び、内容と自分の考えを紙にまとめ一年間掲示した。 	
C 前年度の成果と課題		
<p><成果> 授業改善、補充指導、学力に関する各種調査の実施、分析というサイクルは確立した。児童のつまづきを細かく分析し、一人一人のつまづきに応じた教材の作成、指導を行うことができた。</p> <p><課題> 既習の学習内容の復習が現学年まで追い付かず、現在の学年の学習の定着が不十分となった。また家庭学習の取組については個人差が顕著で、それは学習内容の定着の状況にも直結していた。</p>		
D 今年度の目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
別紙 「平成31年度 学力向上アクションプラン」参照		

重点的な取組事項－2		教師の指導力向上
A 今年度の成果目標		達成基準
教師の各職層における資質・能力の向上		東京都OJTガイドラインによる、「教員が身に付けるべき力」の向上

B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
校内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員研修会の実施年15回 ・主任教諭によるOJT研修会年10回 ・校内研究の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長、副校長、主幹教諭による若手教員対象の研修会の月2回実施。 ・各主任教諭による年2回ずつの校内研修会の実施。 ・「足立スタンダード」型の授業を定着させるための校内研究の推進。
校外研修の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の区小研への教員の全員参加 ・各教員年2回以上の他校の参観、研究発表会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・区小研で学んだことの、レポート形式による報告。 ・担当教科の研究発表会等への参加。学んだことの職員夕会、長期休業中の研修会における紹介。
教師自身の指導におけるPDCAサイクルの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の指導の振り返りと改善策の週案への記載90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・週案を活用した指導の振り返り、手立ての改善、実施と管理職による指導

重点的な取組事項－3	児童の心身の育成の充実
-------------------	-------------

A 今年度の成果目標	達成基準
児童の心と体の健全な成長	年度末の児童、保護者、地域、教員の学校評価アンケートの向上

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策
豊かな心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末実施の「花畑小学校のきまり」のチェックにおける、良好な結果90% ・いじめの解消率の向上 ・QU調査の分析を生かした学級経営 	<ul style="list-style-type: none"> ・「花畑小学校のきまり」の年3回の実施と結果を生かした指導 ・いじめアンケートの結果を基にした未然防止と早期対応 ・QU調査の迅速な分析と共有
健康な身体の成長	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びをする児童90% ・運動能力調査の結果の向上 ・外部機関と連携した健康教育の授業、研修会年2回以上の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直、生活指導部会を中心とした声掛けと、教員も加わった外遊びの実施 ・年間計画に基づいた投力向上の取組の充実 ・保健師、学校医その他を講師とした授業、研修会の実施
特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会の開催月一回 ・特別支援教育に関する校内研修会の実施年4回 ・SC、SSW、外部講師による研修会の実施年3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援委員会における支援を要する児童と家庭についての協議の実施 ・特別支援コーディネーター、教育相談担当教師による校内の事例研修会の実施 ・特別支援等についてのスキル等をもった専門家による研修会の実施